

件名：令和6年能登半島地震に関する柏崎刈羽原子力発電所の点検状況等に係る面談

日時：令和6年1月4日（木）14:00～14:30

場所：テレビ会議システムによる出席

出席者：

原子力規制庁

長官官房総務課 事故対処室

木原室長補佐、小野室長補佐

原子力規制部検査グループ 実用炉監視部門

菊川管理官補佐、志賀上級原子炉解析専門官、小野上級原子炉解析専門官、

宮坂原子力運転検査官、井上係長、藤岡係員

東京電力ホールディングス株式会社（以下、「東京電力」という）

原子力運営管理部 運転管理グループ 担当者3名

柏崎刈羽原子力発電所 第一運転管理部運転評価グループ 担当者1名

柏崎刈羽原子力発電所 第二運転管理部運転評価グループ 担当者1名

要旨：

- 東京電力から柏崎刈羽原子力発電所における令和6年能登半島地震に対する施設の点検状況等に関して、資料に基づき説明があった。
- 原子力規制庁から津波による潮位変動の状況、使用済燃料プールのスロッシングによる溢水量及び放射エネルギー、余震を含めた地震による地震加速度の状況について確認を行った。
- 東京電力から資料を基に以下の回答があった。
 - ・柏崎刈羽においては、使用済燃料プールの溢水があったが、資料にあるように地震後の点検においても地震による大きな影響は確認されていない。
 - ・津波による潮位変動については、約40cm程度の上昇が確認された。取水路等における水位変動は精査中である。
 - ・使用済燃料プールのスロッシングによる溢水については、溢水の発生した各号機とも拭き取りもしくはプラント排水ラインによる排水により措置を完了している。放射エネルギーとしては、3号機で検出限界を僅かに超える程度で、その他号機では検出限界未達だった。
 - ・地震による加速度については、余震を含めて最大の観測値は、1日16時10分頃の地震による3号機原子炉建屋基礎マット上端での87.1ガル（水平方向）であった。

配付資料：

- 地震発表後のプラント状況について（第1報～第10報）

第1報：https://www.tepco.co.jp/niigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010101p.pdf

- 第 2 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010102p.pdf
- 第 3 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010103p.pdf
- 第 4 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010104p.pdf
- 第 5 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010105p.pdf
- 第 6 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010106p.pdf
- 第 7 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010107p.pdf
- 第 8 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010108p.pdf
- 第 9 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010201p.pdf
- 第 10 報 : https://www.tepco.co.jp/niiigata_hq/data/press/pdf/2023/2024010202p.pdf